

清里町図書館

図書館だより



清里町図書館
ホームページ
QRコード



NO.302
清里町
羽衣町35番地
TEL 25-2582

今月の本棚

図書館長のおすすめ

本を読むきっかけは人それぞれだと思います。私の場合、趣味を深める、仕事上必要興味や関心がある、といった理由のほか、最近では肉親との別れなども本に身代わりのきっかけとなりました。今回、私がおすすめする本は、そんな思いで読んで本の中からピックアップしました。(図書館長)

- ・アカワ流生きるヒント 阿川 佐和子
- ・みんなの「わがまま」入門 富永 京子
- ・母を亡くした時、僕は遺骨を食べたいと思った。 宮川 サトシ

展示期間 3月1日～3月31日

特設コーナー

若い人に贈る読書のすすめ

みずみずしい感性や好奇心、柔軟な思考を豊かに持ちあわせている(若いとき)に読書することは、あとの生き方に大きな実りをもたらします。新たな人生の一步を踏み出す若い人に、読んでもらいたい本を集めました。

- ・お探し物は図書室まで 青山 美智子
 - ・エレジーは流れない 三浦 しをん
 - ・スマホ脳 アンデシュ・ハーン (ほか)
- 展示期間 3月15日～4月17日

新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大防止のため、今月の読みみかせ会(は中止とさせていただきます。

図書館に新しく入った本の紹介

小説

六つの村を越えて髭をなびかせる者
西條 奈加 著

六つの村を越えて
髭をなびかせる者
西條 奈加 著

世界の美しさを思い知れ 額賀 溥 著
運見 貴斗と尚斗は一卵性双生児。弟の尚斗は人気俳優だったが、遺棄された。尚斗は自費で探偵事務所を開業し、兄の顔認証を突破して、兄の行方を追う。未読メイルには礼文島行きの航空券が届いて旅行に行こうとした。その答えを知るために、貴斗は林と立つ。生きることを、死を受けとめることの意味を問う。

一九六一東京ハウス 真梨 幸子 著
六〇年前の団地体験で五〇〇万? 異色のリアリティショーは謎の超展開。これって「現実」?
奔流の海 伊岡 瞬 著
二十年前に町を襲った豪雨。休業中の旅館にふらりと現れた大学生。事故死した父。すべてが一つにつながるとき、慟哭が読者を襲う。

絞め殺しの樹 河崎 秋子 著
アクトレス 菅田 哲也 著

絞め殺しの樹
河崎 秋子 著
アクトレス
菅田 哲也 著

偽装同盟 佐々木 譲 著
日露戦争に負けた日本。ロシア軍が駐屯する東京で警視庁の新堂が連続強盗と女性被害、二つの事件を追う。だが、ロシア首都での大規模な騒ぎが伝えられ、改変歴史警察小説。黒目の一族 明野 照葉 著
山亭ミアキス 古内 一絵 著

一ノ瀬エウナが浮いている 乙一 著
カ劇染みの一ノ瀬エウナが、宙に浮いてはいる。十七歳の時、水難事故で死んだはずのユウナの目の前に、不思議なことが起こる。ユウナのお気に入りの線香花火を現す。ユウナが見えなかった。彼女が何を現したのか。ユウナが抱きかかると、線香花火は彼女を抱きかかると減っていく。

2月によく読まれた本

- ・北緯43度のコールドケース 伏見 美紀
- ・居酒屋「一服亭」の四季 東川 今野
- ・ポーターライト 米澤 穂村
- ・黒牟城 榎田 カ
- ・古い蜂 榎田 カ
- ・フェイクフィクション 榎田 カ
- ・親のトリセツ 湊 かなえ
- ・残照の頂 川村 元氣
- ・神曲 小野寺 三羽
- ・むかしむかしあるところに、やっぱり死体がありました。 青柳 碧人
- ・ミニシアターの六人 小野寺 三羽
- ・共犯者 三羽

3月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

○ = 休館日

☆開館日 火～土曜日 午前10時～午後6時 日曜日・祝日 午前10時～午後5時 ☆休館日 月曜日(祝日の場合は開館)

聞説

辻村 深月 著



「うちのクラスの転校生は何かがおかしい!」クラスになじめない転校生。要は、親切に接する委員長が、度々、その彼女に要する不審な態度で迫る。唐突に今日、家に行こうとしたら、尋ねたり、家の周りに出た。恐怖を覚えた。涙は、瞳の先ず、神原に助けを求めた。

赫衣の闇

三津田 信三 著

「黒面の狐」事件後、上京した物理波矢多。闇市「赤迷路」に菓食う。凄惨な殺人事件に遭遇する。

ひとりでカラカサさしてゆく 江國 香織 著

三人の男女はなぜ大晦日の夜に一緒に命を絶つたのか? センセーショナルな死をさげすみに動き出すさまざまな人生を描く。

そのがたりの賊 真藤 順文 著

光源氏、坊っちゃん、伊豆の踊子。文学史を彩るキラキラした文壇、京都を舞台に大立ち廻り! 日本文学版「アベンジャーズ」

ブラックボックス 砂川 文次 著

第一六四回芥川賞受賞作。ずつと遠くに行きたかた。今も行きたくて、思っている。自分の中の怒りの暴発を、なぜ止められないのだろう。自衛隊を辞め、いまは自転車メッセンジャーの仕事に就いているサクマは、都内を今日もひた走る。

全裸刑事チャペリー 七尾 与史 著

「全裸刑事」が横行された日本。全国初の全裸刑事が登場した。ノイ・デイスの法が施行されて一年がたつ。日本は、全裸生活を認めることになった。反対勢力も強く、国会は揉めた。だが、全裸は究極のエクソダス。彼は生まれたままの姿で、ノイ・デイスの法を高くかき上げた。全裸刑事が横行する。全裸刑事が事件を鮮やかに解決する。

ミス・サンシャイン 吉田 修一 著

大学院生の岡田一は、ハリウッドで活躍した伝説の女優「和楽京子」と出会った。一瞬、気がつけば、彼女のことばかり考えていた。

怪物

東山 彰良 著

毛沢東、合世下の中国に墜ちた、台湾空軍パイロット。彼は飢餓の大陸で、怪物と邂逅する。

下北沢であの日の君と待ち合わせ 神田 茜 著

「エッセイ」 阿川 佐和子 著

コロナ禍で激変した生活、母と妻後の実家の片づけ、忍び寄る老化現象。なんのこれしき、奮闘の日々。読者と気持ちの楽になる、アガッ流。あるもので乗り越える。人生のコロナ禍の友達の友達は、ぼく。言葉は誰のものでもないけど、誰かのものではある。誰かと誰かをつなぐ。最果てからの言葉に、僕は耳を澄ます。

100歳まで生きてどうするんですか? 末井 昭 著

「この年になるまで、自分が老人であるとか、いつ死ぬだろうとか、まったく考えたことがありません。飄々として、人生の時代をいせんで生きて、死を笑って脱力し、まっとう生きるのが楽しくなります。」

一期一会の人びと 五木 寛之 著

眠れない夜に、次から次へと浮かぶあがってゆく顔がある。水の流氷のように、浮かんで消え、消えては浮かぶ。人がこの記憶を文章にするのは至難の業である。しかし、一瞬の出会いだから、その色褪せぬ記憶もあるのだ。

その日まで 瀬戸内 寂聴 著

九十九歳、最期の長編エッセイ。切に愛し、いのちを燃やし、ペン一筋に生き抜いた。七十余年にわたる作家人生の終着点。

吉祥寺ドリミン 山田 詠美 著

「政治」 北海道新聞社 編

四島返還から二島返還へ。二〇一八年、安倍晋三首相はプーチン大統領との首脳会談で、北方領土交渉について、日露共同宣言を基礎に、二島返還の方針転換を打ち出した。交渉の舞台裏で何が起きていたのか。

アイヌからみた北海道一五〇年 石原 真衣 編著

「北海道命名一五〇年」をアイヌの人たちがどのように見つめていたのか。開拓を否定するのではなく、この土地が持つ悲しみや努力や希望の物語をアイヌと和人が共に継承するために、三十名を超えるアイヌの人たちが多様な思い、過去と現在、

法律

幸六法 森 公任 著

ルールの世界史 伊藤 毅 著

戸籍のことならこの一冊 石原 豊昭 共著

「社会」 他者の靴を履く ブレイディみかこ 著

「教育」 GIGAスクール構想へ取り組む事例ガイドブック 中川 一史 編著・監修

「芸術」 ぼくモグラ・モツネ馬 中川 一史 編著・監修

「写真」 ぜんぶ教えます! 動画術 そのさん、そのさん、著

「スポーツ」 今すぐ使えるかんたん YOUTUBE動画編集入門 入江 祐也 著

「法律」 日本オリンピック委員会 公式写真集2020 東京オリンピック日本代表選手団 JOC 企画・監修

Book advertisement for 'ぼくモグラ・モツネ馬' (Boku Mōgura Mōtsunēuma) by Nakagawa Kazuhiko. The cover shows a horse and a mole. Text includes '世界中で100万人の心をつかみ取る本' and 'モグラ・モツネ馬'.

「政治」 北海道新聞社 編